

カワアイサ (学名: *Mergus merganser*)

【カモ目カモ科】



▲ 左がカワアイサのオス、右はカワウ



▲ カワアイサのメス

冬の只見町は雪に覆われてしまうので、森の野鳥はほとんどいなくなります。ところが、凍らない水面では、冬にしかやってこない野鳥を観察することができます。その代表がカモ類です。カモ類の多くは、夏の北国で繁殖し、越冬のために日本に渡ってくる冬鳥です。カワアイサもそのようなカモ類の1種です。世界に広く分布しており、ユーラシア大陸中北部と北アメリカ北部で繁殖し、日本でも北海道東部・北部で繁殖が確認されています。ヨーロッパ中部や中国南部、北アメリカ中部では冬鳥となっています。

カモ類というと、くちばしが平たいというイメージがありますが、カワアイサのくちばしは細長く、先が鋭いかぎ状になっています。この形態は、上の写真のカモとは別の仲間、カワウに良く似ています。潜水をして水中の魚を追い捕食するという両者に共通する生態が、くちばしを良く似た構造に進化させたと考えられます。鋭いくちばしは、捕らえた魚に食い込み、逃がしません。町内では、ほかのカモ類に交じって只見ダムでも見ることができますが、只見川本流のような流れのある場所でよく見かけます。採食しているとだんだん下流に流されますが、水面すれすれを飛んで上流に戻り、採食を再開します。オスは首から腹部にかけて真っ白で川に浮いている姿は一見すると雪の塊のようです。

企画展 「只見の山を眺めれば…そこにある樹木に気づく企画展」

期間：令和2年1月25日(土)～令和2年3月30日(月)

会場：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

只見子ども芸術計画 「ブナの森の道具屋さん」展が開催中です！

12月16日より、「ただみ・ブナと川のミュージアム」の休憩室で「ブナの森の道具屋さん」展が開かれています。あさひ放課後子ども教室の児童たちが町内のブナ林で集めた素材を使って創作した「森の生きものが使う道具」や描いたブナの葉を使った招待状、アーティストの岩田とも子氏(芸術計画の講師)が自然素材で作った作品などが展示されています。展示見学は無料で、2月24日(月・祝)まで公開されます。その後、3月1日(日)の「朝日のいいもの集めちゃった市」でも展示される予定です。



▲ワークショップに参加した子どもたち

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています